

北九州市立中央図書館分館だより

平成27年3月1日

市立図書館

2/21日付

りくえすと BEST10



3月の休館日



ついに

# そねっと200号!!

〒800-0127 北九州市小倉南区下曾根4-22-1. TEL・FAX 093-475-0120

開館時間：9時30分～19時（土日祝18時）

http://www.city.kitakyushu.lg.jp/j/toshokan.html

## そねっと新聞ついに200号!!!

そねっとは平成10年にオープンして今年で17年目を迎えました。小倉南区東部の皆さんがら図書館をつかってほしいとの強い要望があり、そねっとができたそうです。

オープン当時1万8千冊だった本も今は5万冊に増え、平日の開館時間も長くなり、スタッフも3人から4人になり、サービス向上のために進化を続けています。

「そねっと」という名前は、開館時に図書館の愛称を公募して決定したそうです。この名前には皆さんの地域への愛情、図書館への期待などいろんな意味が込められています。

- ① 曾根の我等が図書館
  - ② 「と」の意味は図書館の「図」。文化、情報発信の地
  - ③ ネットワークを広げ豊かな情操を
  - ④ イタリアの14行詩「ソネット」と語呂合わせ。西洋の抒情詩の一体。
- 今後も地域の皆さんに親しまれるそねっとであり続けたいと思います。

よろしくお願ひいたします。

15日は本がなくなり次第終了します。

ブック  
リサイクル

日にち・・・3月14日(土)  
3月15日(日)  
場所・・・そねっと  
時間・・・9:30～18:00

## ※ 新刊図書のご案内 ※

### < 成人書 >

- ・ 悲嘆の門(上)、(下) / 宮部 みゆき
- ・ 影踏み鬼 / 葉室 麟
- ・ 絶唱 / 淡 かなえ
- ・ 雨に泣いてる / 真山 仁
- ・ サーカスナイト / よしもと ばなな

### < 児童書 >

- ・ おばけのたまごにいちちゃん / あきやま ただし
- ・ 折り紙えほん / 高野 紀子
- ・ サムとデイズ、あなをほる / マック・バーネット
- ・ コロケです。 / 西村 敏雄
- ・ おかしのまち / 青山 邦彦

①	村上海賊の娘(上)	和田 竜	459件
②	村上海賊の娘(下)	和田 竜	431件
③	虚ろな十字架	東野 圭吾	333件
④	サラバ!(上)	西 加奈子	332件
⑤	フランス人は10着しか服を持たない	ジェニファー・L・スコット	322件
⑥	サラバ!(下)	西 加奈子	280件
⑦	マスカレード・イブ	東野 圭吾	262件
⑧	銀翼のイカロス	池井戸 潤	259件
⑨	満願	米澤 穂信	257件
⑩	明日の子供たち	有川 浩	220件

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	
29	30	31				

■ ⇒ 休館日

## ☆おはなしひろば☆

♥ 毎週木曜日 10:30～11:00

3月・・・5日、12日、19日、26日

※今年度は24季節の紹介です※

※すごもりむし⇒カエル等の冬眠する動物

啓蟄(けいちつ)・・・3月6日頃 蟄虫(すごもりむし)が地上に姿を見せる時期。

春分(しゅんぶん)・・・3月21日頃 この期を境に夜より昼の時間が長くなる。

## 『100万回生きたねこ』作・絵 佐野洋子



そねっと新聞でこの本の紹介をするのは2回目です。新聞200回を記念してあらためてこの大好きな本をご紹介しようと思います。かなり大げさになるかもしれませんが、この本の中には「人間はなんの為に生まれてくるのか」という問いへの答えのひとつがあると思うのです。

あるところに100万回死んで生まれ変わったねこがいました。ある時は王様のねこ、ある時は船乗りの、ある時はおばあさんの。なにしろ100万回も生きた自分が大好きですから毎日自分の自慢話ばかりです。■しかし、ある時一匹の白いねこと出逢いました。自慢話しても驚かない白いねこに興味を持ち、初めて一緒にいたいと思います。ねこは100万回生きてやっと愛するものに出逢ったのです。

愛する者と共に生きる充足感。自分を犠牲にしてもいい程自分より大切な他者がいる幸せ、つまり人間は自分より大切な他者と生きる喜びを知るために生まれてくるのではないのでしょうか? ■白いねこが死んで100万回泣いたねこはその横で動かなくなり、もう2度と生まれ変わることはありませんでした。■大好きな人にプレゼントするという方も多いと言われる絵本。1度読んだ方も是非もう一度開いてほしい一冊です。(そねっと司書 福田久仁子)